



刊夕日二十二月六

常警論壇
人口調節と移民の價值 (六)
 布川靜淵

出生率減退こそ調節の偉大なるを示すので、移住ではない。それだけ歐洲は進歩したのであるが、同時に又老いたるものと見るべきである。彼の獨逸人口の増加力甚だしきに比し、佛國の遅々たるは前者の新興國として活躍せる面影を示すものがあると同時に後者の老いたるを物語つて居る。

歐洲諸國が移民を盛んに行へる時期に於て、之が爲

に本國に於て人口減少せる事實を見ること殆んどない。幾分影響ありとも直ちに恢復されて居る。又人口調節の目的を以て海外移住を奨励したるにあらざして、新植民地を獲得し、之を開拓して利権を扶植し、以て母國との貿易を盛んならしむる目的に出たものである。即ち少數の支配者、企業家、商人、軍人等を渡航せしめて、利権を圖り、以て母國の生活を改善せしむるに盡したのであつて、白人は資本家たり支配者たり企業家たるに、労働は其の地方の土人を以て當て居る。即ち少數の人を以て多數を支配して居るのである。之

は決して歐洲の人口過剰を調節するといふ目的を以て經營されたものとは云へぬ。また北米は十八世紀末に於て獨立國となれると、自然資源の豊富なるに拘らず、之を開拓する労働力少なきを以て歐洲人の渡航を誘引し、爲めに多數移住者を吸入したのである。本邦移民の如き労働出稼の目的と歐洲の移植民地經營とは之を同一視すべきものでない。換言すれば歐洲の移植民は今日の日本の如く、人口調節の手段として行はれたものでない、其の手段として移植民を云々するは、近代に於ては獨り日本の新發明である (つゞく)

外科
 外科一般
 耳鼻咽喉科
 男性病科
 女性病科
 ×光線科

赤心堂病院
 京都産出瓦斯販賣 行聲座隣
 コーラス特約販賣 行聲座隣
 電話四七五番

磐城建設會社
 建築ノ絶好季!!!
 機會ハ來ル!!!
 材料ハ安ク、能率ノ上ル
 頼ンデ德、請ケテ樂ナ建物
 ノタメニナル

▲一月十五坪以内ノ住宅本年内十戸ニ限リ建築費三分ノ二迄三ヶ年月賦金融
 ▲家賃ト大差無キ掛金ニテ三年間ニ自分ノ家トナル毎月其家ノ東端シカラ三十六分ノ一宛アナタノ物ニナツテ行クノデス

に鶴屋商店
 電話百四十番

●雨近キ入梅期ニ
 オ子サン方ノ
 通學ニ便利デ
 經濟デ然モ堅牢ナ
防水マント

尺八寸 二、四〇〇
 尺六寸 二、六〇〇
 尺四寸 二、八〇〇
 尺二寸 三、〇〇〇
 二尺四寸 三、〇〇〇
 二尺六寸 三、〇〇〇
 二尺八寸 三、〇〇〇

女學生用モ有リマス

專賣特許タイル
 各種タイル
 テラコッタ
 煉瓦
 衛生用陶磁器

御注文申込次第
 店員參上
 産地「伊賀」焼
 特約店
上武屋茶店
 平町三丁目

買イ好店
 良價ヲ安ク賣ル
クースリ
 関内菓舖
 薬剤師 関内栄助
 電話四〇番

專賣 特許
マイズ蠅取粉

蠅をコップに入れ紙にて蓋を爲し穴を明け此蠅取粉少量を落し込み時は蠅がキリキリ舞ひして斃れる有様が良く判ります又蠅取機に振り掛くも同様です

荒物雜貨賣藥等の各商店にて販賣します。

人畜無害
 ホンノ少シで
 一たまりもなく死ぬ

ウハカガシアノダ
 ナンキンムシ
 イチウミリミニ

外科
 入院應需
上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

内科
 小兒科
 花柳病科
 (需應院入)
 平町紺屋町
藤沼醫院
 電話四五七〇番

最モ買ヒヨイ店
 合名 會社
中野吳服店
 電話六十七番

初夏
 向特く品價
 絹羽織……五圓五十錢
 全……………七圓
 白縞……………七十五錢
 繪羽浴衣地三圓五十錢
 手拭中形 八十錢

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平南町(電話一七〇番)

正確な寒暖計と
体温計は親切第一
一の山野邊藥局
 平町紺屋町(縣社通り)
 美味 **イワキ食堂**
 評判
 オの部電話四六〇番

賣れ行きが事實を證明する
 品質聲價共に拔群の!!
磐城セメント
 磐城セメント會社特約店
 和洋銅鐵 釜屋商店
 金物問屋 釜屋商店
 磐城平町五丁目 電話九番 一三九番
 ▲良品廉賣、勝る商畧なし
 ▲確實敏捷は釜屋の生命なり

委託金を費消した 佐藤代議士の公判

廿五日に平支部で 三萬一千餘圓の請求訴訟

平町一町目常盤屋時計店主
松本元三郎氏は相馬郡中村
町荒井町材木商代議士佐藤
富十郎氏を相手取り門傳辯
護士を代理人として昨年十
月三萬一千五百圓並にその
利子の請求訴訟を

提起し たがこれが

第一回公判は来る廿五日平
支部で開廷されることに決
定した、その内容は當時所
報の如く相馬郡中村町相馬
銀行では頭取櫻井高尙氏が在
任中大阪市南區材木町田村
藤次郎氏に貸金二萬一千五
百圓の債券を有してゐたが
前記松本氏が大正七年頃若
松市で

材木商

を營んで
た頃この債券を商賣上の關
係で相馬銀行より獲得した
ので銀行では佐藤富十郎氏
に委任状を出して取下方を
依頼した所大正十年委任状
を持つて佐藤氏は下阪し田
村氏より現金にて二萬一千
五百圓を受取つた儘相馬銀
行にも松本氏にも

先方が

負債が多く
見込みがないといつて要領
を得ず再三交渉せるも言を
左右にするので松本氏は田
村氏に問ひ合せた處大正十
年に確に佐藤氏に渡した旨
の返事があつたので大に驚
き佐藤氏に質した處「金は

税法改正によつて一躍之を
千二百圓に引上られたる結
果従來の納税者たりし田畑
二三町歩所有の小農階級或
は月收百圓前後の俸給生活
等にして失格納税義務なき

平刑務所の囚人 塀を越えて逃走

前科五犯の窃盜犯 非常線を張り追跡

包まず自白し

平刑務所にて服役中の囚人
北海道川郡土別村上士別
西田生れ當時郡山市宇屋敷
町大工職前科五犯山口鶴二
郎(七)は本廿二日午前六時
四十分頃他の囚人三名と共
に作業中看守の隙を見て塀
をよじ越へ脱走し行衛不明
となつたので平刑務所では
平警察署の應援を得て直ち
に非常線を張り行衛捜索中
であるが此稿締切迄には未
だ縛に就かず多分好間から
小川方面に逃げ延びた形跡
がある

町議斬り送

一罪名は殺人未遂
昨報平町々會議員野崎滿藏
氏を梅の湯にて滅多斬り
と爲し重傷を負はした平町
堤の内深谷三郎(七)は平
署にて小警察部補の取調へ
を受け「斯ふなつたら早く
監獄に遣つて貰ひ度い」と
少しも包みなく犯行の一切
を自白し及んだので本日午
前二時頃殺人未遂とし一件
書類と共に検事局に押送さ
れた囚に同事件に關し何者
あつてそれを食べて中毒を
起すと、食へてから四時間
位たつて急にはげしい腹痛
を覺え、嘔吐を催して來ま
す、五六歳の子供だと發熱
四十度にも及び、これを進
行すると下痢が伴つて疫病
のやうな症状をあらはしま
す、これは梅ばかりでなく
すも、はだんきやう其他

福島から 移送された男

移送された男

脱走囚山口鶴三郎は本年二
月廿七日福島刑務所から懲



梅の中毒手當法

丁度今頃子供達は葉かげの
「梅の實」に誘惑されて食へ
たかものです。青い熟さ
ない梅は青酸といふ毒素が

常磐片々

囚人逃走、マラソン熱刑務
所に及ぶか
附近の子供達彌次馬の卵を
氣取つて看守の後を追ふ、
お蔭で迷兒が二人とは近所
迷惑な話
佐藤代議士の委託金費消公
判廿五日に開廷、だからこ
そ先般議會で歳費値上の急
先鋒だつたのか、手廻しの
よいのに感服々々
斬られた野崎君出血多量、
悪血を拂つてタースケター

水蜜桃や梨

いちごに續き
神谷分場から
そくく生産
石城郡神谷村にある縣立農
事試験場石城分場のいちご
は今年の如き二百貫からの
生産がある豫想とあるが更
に同場では来月になると水
蜜桃が極めて良好に結實し
約一千個を被包した、これ
また多額の収入となるが同
場には向後二三年の後は
更に野菜、草花、柿、桃、
梨その他の果樹が完全に發
育生長すれば収入は多額に
上るであらう、試みに本年
度収入豫算を見るに二千五

電話架設申込

平町が最も減少
過般縮切つた本年度電話架
設の申込は郡山市八百六十
九口、若松市四百卅三口、
福島市二百六十一口、平町
百廿口、にて平町は最も少
數で前年の申込百九十六
口に比較し六十六口の減を

落成祝賀

理事會の協議
平町警城訓育院理事會は廿
二日午前十時より郡衙にて
開會、廿七日に舉行する落
成祝賀式に關して協議する

免の耳

氣の小さい夫
形縣東田川郡本郷
村熊出農佐藤七右
衛門(五)は二十日
午前八時頃物置小屋で縊死
した、同人は小膽者で酒を

募集

文藝其他投稿
を募集します
好み前日同村南波安彦方で
酒の馳走を受け序に叔父の
會葬に行き泥酔して自動車
で歸宅したところ妻たけ
より痛く叱責され又客月二
十五日余目町澤田榮藏と馬
の交換を約し自分の馬だけ
引去られ先方の馬が來ない
ことなどを苦慮して自殺し
たものだと
平町人事
出生
△紺屋町一遠藤重一氏三男昇
△胡麻澤五五堀金五郎氏長女一子
▲死亡
△白銀町九山本眞一氏
△長橋町三〇齊藤アキ(五六)

か背後に煽動せるものある
が如く傳へた新聞もあるが
同人は全々左様な事實を口
にして居ない模様であると
云ふ
内部部長來平 半井
本縣内務部長は相馬、双葉
兩郡を巡視の歸途本日午後
一時四十分平驛着にて來平
末廣にて休憩し午後三時五
十分平驛發平郡線にて歸廳
したと
右眼が陥没
落磐で惨死
石城郡内郷村大字白水字濱
井場居住山形縣生れ磐城炭
礦坑夫加久美集策(七)は
廿日午後三時半頃磐城坑南
斜坑にて採炭に従事中俄然
落盤に押し潰され頭蓋骨を
破り右眼陥没して惨死し平
署七海部長検視したと
赤井田植不能 石城
郡赤井村北部にては水不足
の爲め目下田植を中止して
雨乞ひを爲しつゝあると
湯本局外預入 石城
郡湯本町郵便局にては郵便
貯金者の便宜を圖り附近炭
礦及び學校等にて局外預入
事務を取扱ふ事になつたと